

# PHOTO まちかど



「大槌川上流の渋梨地区で撮影しました。田植え機を使って田植えをし、機械で植えることができない田んぼの隅は、手植えする。震災前から変わらぬ田園風景を見ると、ほっとしますね」

【5月19日、伊藤陽子さん撮影】



「勤務している赤浜の印刷会社の周辺で撮影しました。『ホーホケキョ』と鳴くのは、縄張りを主張するオスです。ウグイスは昆虫やクモ類を捕食しますが、警戒心が強く、撮影できたのは珍しいことではないでしょうか」

【5月9日、三浦寧史さん撮影】

総合政策課では読者の皆様からのニュース提供をお待ちしています。町民の方々に広く知ってほしい出来事があれば、お知らせください。「PHOTO まちかど」への写真投稿も歓迎です。変容する町の姿、震災前から変わらない町の光景を写真で切り取り、お寄せください。また、広報紙への感想や提言を、お送りください。 総合政策課 復興まちづくり班 Tel. 0193-42-8724 E-mail: hiroschi.t@town.otsuchi.iwate.jp ※はがき、手紙の場合は、住所、氏名、連絡先（電話番号など）を明記のうえ、〒028-1192 大槌町上町1-3 大槌町役場総合政策課・広報紙担当へ

## 大槌町カレンダー 6月5日(水)～7月4日(木)

日付	大槌町内イベント	大槌病院外来
5(水)	のびのび広場 (9:30～)	午前：内科、皮膚科 午後：内科、皮膚科
6(木)	のびのび広場 (9:30～) さわやかストレッチ教室(13:30～) 心配ごと相談(9:30～12:30) 無料法律相談(11:00～16:00)	午前：内科、外科 午後：内科
7(金)	のびのび広場 (9:30～)	午前：内科 午後：内科
8(土)		完全休診 (急患受付なし)
9(日)		完全休診 (急患受付なし)
10(月)	のびのび広場 (9:30～)	午前：内科、整形外科 午後：内科
11(火)	のびのび広場 (9:30～)	午前：内科、外科、眼科 午後：内科、皮膚科
12(水)	のびのび広場 (13:30～)	午前：内科、皮膚科 午後：内科、整形外科、皮膚科
13(木)	のびのび広場 (9:30～) 心配ごと相談(9:30～12:30)	午前：内科、外科 午後：内科
14(金)	のびのび広場 (9:30～)	午前：内科 午後：内科
15(土)	大槌河川漁協組合遊漁証発行日	完全休診 (急患受付なし)
16(日)	大槌河川漁協組合遊漁証発行日	完全休診 (急患受付なし)
17(月)	のびのび広場 (9:30～)	午前：内科、眼科 午後：内科、整形外科
18(火)	のびのび広場 (9:30～) 栄養教室	午前：内科、外科 午後：内科、皮膚科
19(水)	のびのび広場 (9:30～)	午前：内科、皮膚科 午後：内科、皮膚科
20(木)	のびのび広場 (9:30～) さわやかストレッチ教室(13:30～) 元気活いき運動教室(13:30～) 心配ごと相談(9:30～12:30)	午前：内科、外科 午後：内科
21(金)	のびのび広場 (9:30～) いわて就職面接会II	午前：内科 午後：内科
22(土)	日本脳炎予防接種	完全休診 (急患受付なし)

日付	大槌町内イベント	大槌病院外来
23(日)	無料労働相談会	完全休診 (急患受付なし)
24(月)	のびのび広場 (9:30～)	午前：内科、整形外科 午後：内科
25(火)	のびのび広場 (9:30～) 栄養教室	午前：内科、外科、眼科 午後：内科、皮膚科
26(水)	のびのび広場 (13:30～)	午前：内科、皮膚科 午後：内科、整形外科、皮膚科
27(木)	のびのび広場 (9:30～) 心配ごと相談(9:30～12:30) 無料法律相談(11:00～16:00)	午前：内科、外科 午後：内科
28(金)	のびのび広場 (9:30～)	午前：内科 午後：内科
29(土)	日本脳炎予防接種	完全休診 (急患受付なし)
30(日)	無料労働相談会	完全休診 (急患受付なし)
7月		
1(月)	のびのび広場 (9:30～)	午前：内科、眼科 午後：内科、整形外科
2(火)	のびのび広場 (9:30～) 高齢者生きがいセミナー	午前：内科、外科 午後：内科、皮膚科
3(水)	のびのび広場 (9:30～)	午前：内科、皮膚科 午後：内科、皮膚科
4(木)	のびのび広場 (9:30～)	午前：内科、外科 午後：内科

※心配ごと相談は、大槌町社会福祉協議会で実施しています。相談内容についてはお問い合わせください。  
大槌町社会福祉協議会 Tel. 0193-41-1511

※のびのび広場では、大槌保育園を解放し、親御さんや子どもたちの交流の場を提供します。  
大槌町地域子育て支援グループかりん Tel. 0193-42-2570

# 3年目の仮設 ～より良き暮らしのために～



太極拳の心に触れて  
小槌第7仮設団地  
大槌町小槌の第7仮設団地(55世帯、134人、2月末現在)では、住民が太極拳の準備体操をして運動不足を解消しています。仮設団地では月、木曜日の週2回、午後14時から40分間ほど、住民が談話室に集って体を動かしています。4月18日(木)に、談話室を訪ねてみました。11人の住民がラジオ体操第1、次いでラジオ体操第2で体をほぐし、太極拳の準備体操へ。呼吸に気を配りながら、ゆったりとした動きを15分ほど繰り返しました。汗ばんで、「あつー、あつー(暑い、暑い)」という声がかかるほどの運動量。太極拳そのものにはありませんでしたが、太極拳の準備体操で、太極拳の心に触れたひと時でした。

和紙の温かさにひかれて  
大槌ちぎり絵の会  
大槌町内に「大槌ちぎり絵の会」があります。会員の多くが被災し、仮設住宅で暮らしています。ちぎり絵が持つ独特の温かさから、厳しい環境を乗り越える勇気と力をもたらす、制作活動が続けられています。会は20年ほど前に結成されました。会員は9人。6人が仮設住宅で暮らしています。月1回、大槌町内の大ケ口多目的集会所に集まります。作品を持ち寄って批評し合ったり、画題を決めたりします。指導するのは、北上市内に住む、ちぎり絵講師の山崎亮子さん(70)。大槌町本町



津波で夫の幸治さん(享年75)を亡くした柏崎和子さん(72)は、震災後、ちぎり絵を始めました。「仮設住宅で独りぼつんとしていた時に始めました。気持ちを落ち着けることができました」と話していました。

## 町長随想

### ②「命の道」実現を

永年の悲願であった釜石山田沿岸道路の大槌工区が先月着工された。これまで関わってきた多くの人々の労苦を振り返ると感慨深いものがある。宝暦5(1755)年、三陸沿岸を襲った大飢饉で、餓死者が続出した。その惨状に牧庵(まうあん)和尚は、「せめて交通の便さえよかつたら、これほどの死者が出なかつたらう」と、72歳で亡くなるまで道の開削に生涯を捧げたと言われている。歳月が流れ、昭和47(1972)年、国道45号線の全線開通以来、産業経済や観光面からも交通量は増し「陸の孤島」と言われた三陸沿岸も、やっとう道路交通網の恩恵を預かることができた。そして今、より速く安全で快適な道路を目指して、三陸沿岸は、高速道の新しい時代を迎えようとしている。気が早いのが完成すると仙台まで2時間半。日帰りで用事が済ませられる時代が到来する。道路整備によって、生活環境が大きく変化する。先を見越した動きが必要となってきた。東日本大震災津波によって、大槌川と小槌川の上流に防災集団移転等による居住の増加が見込まれている。三枚堂地区から大ケ口地区へのトンネル化は、日常生活や災害時の対応道路として、まちづくりには欠かせない。現在、トンネルの実現に向けて町議会と一体となって、国に強く要望している。しかし国は、採択に消極的で、その道のりは厳しい状況にある。町民の新たな悲願として、諦めず取り組まなければならない。久遠のときを超えて、牧庵(まうあん)和尚の執念に思いを馳せる。(碓川 豊)